

南高 同窓会会報

発行所
四日市市大字日永岡山
三重県立四日市南高等学校
同窓会
TEL.059-345-3177
www.4nan.jp/~dousou/



ご挨拶

会長 柏谷 邦男

同窓会の皆様には、ご健勝で
ますますのご活躍を心よりお慶
び申し上げます。

我が南高もいよいよ来年創立
50周年を迎えます。約半世紀
と云う長い歴史、輝かしい実績
多らかな伝統が、受け継がれて
います。本校に関わった全ての
人達に感謝し、更なる発展を祈
りその時を祝いたいと思います。

また、同窓会と致しましても
出来る限りの援助をしたく、皆
様方のご理解とご支援をお願い
する次第です。

21世紀は「物質」の時代から
「精神」の時代になります。人
類は何の為に何処に向かって走
ろうとしているのか。先輩達が
残した教訓・財産・生命を壊す
ことなく今後我々は諸問題にチ
ヤレンジしなければなりません。
創立当時の先生方、また会員
の幾らかの人達が他界されてい

が一番かわいいのです。エゴを
失さねば世はよくならない。

それ程人間とは小さく、弱く
情けない生き物です。だから仲
間を作り人を愛するのでしょう
か。南高を卒業した約一万八千
の同士に多くの幸福と健康を願
いつつ来年一つの夢を共有しよ
うではありませんか。今後も愛
する南高が、我々のシンボルを
して心の支えになることを願っ
て止みません。

最後に、送らせていただい
た趣意書に深いご理解と、暖か
い心で「記念事業」が無事、達
成出来ます様に募金依頼の件を
おひとり、おひとり再度お願
いさせていただきます。

青春の香りがした
コンビナートが見える
登城ヶ丘の坂道より
二〇〇七 夏

**ワンダー
フォーゲル部
インターハイ
〈全国高校総体〉
優勝**



ご挨拶

学校長 中川 安久

昨年末に60年ぶりに「教育基
本法」が改正されました。これ
は教育をとりまく環境が大きく
変化したためであります。すな
わち、科学技術の進歩、情報化、
国際化、少子高齢化、核家族化、
価値観の多様化、社会全体の規
範意識の低下等々の変化に対応
するためであるとされています。

また21世紀に入り、地球温暖化、
地球環境時代到来、人権の世紀
等々と言われて久しいところで
あります。

思い起こしますと、たかだか
7、8年程前には「世紀末だ」、
「来る21世紀には」と節目特有
の過去の総括と将来への憂いを
考え、思いを巡らしたものであ
りました。

私は1999年の世紀末であ
った当時、或る高等学校の創立
記念日を中心に企画していま
した。今でも、このことが大変
参考になり、この仕事に感謝さ
えていることは、周年史の編
纂に携われたことであります。

歴史学の専門家でもない私が、
歴史書とはいかなるものか、か
らはじめ、歴史観の多様さや活
字にする歴史書は、客観的な史
実の証明があるものに限るとか、

いわば最も基礎、基本から教わ
り編纂作業の一員となり、学校
の歴史に其れまでの自分と違っ
た見方ができるようになったこ
とでありました。

単に二十年とか五十年、百年
と申しますが、その年月には、
誠に多くの生徒、保護者、卒業
生、教員が時代の流れに翻弄さ
れながら、学校発展のために尽
力されたことが垣間見ることが
できます。そのこと自体に、学
校の周年事業の意味があること
だと思っております。特に卒業
生の方々には、懐かしさとも
に、現在までの長きに渡る諸事
経緯が一瞬のうちに蘇ることに
なると思います。大袈裟に申し
上げれば、当時の高等学校生活
が人間の情念に訴える郷愁と記
憶にある情景が脳裏に浮かび重
なることと推察申し上げます。

私は本年4月から本校の学校
経営を任せられたわけでありま
すが、本校の歴史を顧み将来を想
うとき、その重責にあらためて
緊張感が溢れる思いであります。
諸行無常と申しますが、時代
は確実に流れ、幾多の変化に応
じて、学校を導くことは、困難
な仕事であります。過去にあっ

たような「先生様感覚」は遠く
古の慣習であります。義務教育
とちがい入学試験を課す高校教
育においても、例えば、高等学
校の通学区の自由化(事実上県
内のどこからでも本校を受験で
きる制度)に伴い、少子化の時
代背景に相まって、生徒が学校
を選ぶ時代に突入り、厳しい高
校間の競争に積極的に立ち向か
うことが必要であります。ただ
単に授業を行い、前年踏襲をし
て真面目に勤務しているだけで
は、学校の繁栄、発展はあり得
ない時代となりました。

近年の学校では、「学校経営
品質」なる企業の取り組んだ手
法を導入し、あらゆる角度から
学校教育を検証し、教育内容を
日々改善していくことが要求さ
れています。

結果的に南高は、教育変革に
晒された結果、同窓生各位の懐
古心に悼さすことがあるかも知
れません。ただ今申し上げるこ
とができることは、進歩は時と
して学校を変貌させるかも知れ
ませんが、私はじめ教職員と在
校生が力を結集して可能な限り
の努力をする覚悟であるという
ことであります。

来年度には、創立50周年の節
目を迎えます。同窓生はじめ、
関係の方々のご協力を賜り、記
念事業を完遂したいと存じます。
何かと煩わすこととなり、甚だ
恐縮でございますが、何卒多方
面においてご支援ご協力を節に
お願い申し上げます。ご挨拶と
致します。

OB講演会

平成19年7月6日

2年生を対象に様々な職業の同窓生による講演会が行われました。

孤野町町長

石原正敬氏(29期生)

今年3月の選挙で、全国最年少町長となられた孤野町長石原さんの講演会は「久しぶりに校舎を歩きましたが、ずいぶん変わりましたねえ。」という第一声から始まった。

萩氏は、本校卒業後、県立看護大に学び、その後臨床看護師として10年の経験をつみ、現在はこれらの経験を生かし早期介入治療(EI)を研究してみえます。この経験から、看護の仕事の紹介と、看護に必要な資質、高校時代に何をしておくべきかを分かりやすく紹介していただきます。

ご自身の高校時代を振り返り、サッカー部と応援団の活動にあけられたこと、大学・大学院に合わせて10年間在籍し、ゆっくりとものごとを考える時間を持つことができたこと、いろんなことにチャレンジすることを許してくれる環境があったことが良かったことなどが語られた。

生徒たちにもさまざまな質問をぶつけながら、強調されたのは「努力すること」、「夢を持つこと」、「志を持つこと」の大切さだった。南高校は自由で、何でもできる可能性に満ちた高校だ、この環境の中で人としての全体力、総合力を身につけてほしい



とエールを送ってくださいました。

町長の仕事について後輩たちからは次々と質問が出され、時間いっぱい丁寧にご答えていただいた。

四日市看護医療大学講師 萩 典子氏(18期生)



萩氏は、本校卒業後、県立看護大に学び、その後臨床看護師として10年の経験をつみ、現在はこれらの経験を生かし早期介入治療(EI)を研究してみえます。この経験から、看護の仕事の紹介と、看護に必要な資質、高校時代に何をしておくべきかを分かりやすく紹介していただきます。

看護師といっても認定看護師・専門看護師を始め、救急看護師など様々で、それぞれ資格を取る必要があるそうです。また、働く場所も、様々で、一般病院から、インドなどのライオンなどの施設に国際協力として

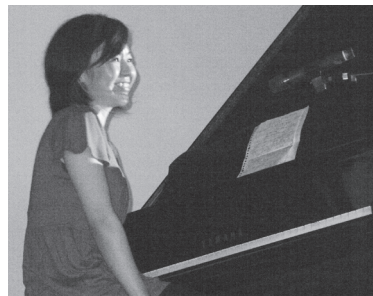
て行くものもあるそうです。また、最近では、男子の看護師も増え、以前からよくあった、精神科のほか救急救命師や、手術現場、電子機器などの知識を生かした人工透析など最新の医療機器現場などで広がっているそうです。

看護師としての長年の経験の中で、高校時代にしておけばよかったと思っていることが一つあるそうです。それは、英語だそうなんです。看護の文献ほとんど英語で書かれている。だから語学力が要になるそうです。それから、観察力と言葉での意思伝達力だそうなんです。1分1秒を争う過酷な現場で、患者の変化とその情報伝達が患者の命を左右するそうです。そして、最後に後輩に言っておきたいこととして、「高校時代にしっかりと勉強しておいてほしい。今勉強した事は君たちの血となり肉となります。だからしっかりと勉強してください」ということでした。

ジャズピアノリスト 横田友紀氏(31期生)

講演はビデオによる、現在の仕事ぶりの紹介から始まりました。TV番組やコマーシャル制作やライブの場で活躍されている。まるで弟や妹に話しかけるかのように親しみを込めて自然体で話され、会場は終始なごやかな空気に包まれていた。穏やかな話しぶりの中からも、ピアノ

演奏のみで生計を立てているというプロの誇りと自信が垣間見られた。「これまで一番辛かったことは何ですか」という質問に対して、「南校のテスト」と答えられ、ついて「仕事において辛いと思ったことは一度もありません」とおっしゃった。自分の仕事への深い愛情を感じました。「自分の仕事は学歴不要の実力の世界です。でも技術や能力プラス性格や人間性の面で人に気に入られる何かが必要です。皆さんも色んな人と付き合って自分を磨き、夢を諦めないで」という言葉が心に残りました。



帰り際にどこからか「横田さんって、本当にピアノが好きなんやね」という生徒の話しが聞こえました。

元プロサッカー選手 葛和修治氏(34期生)

中学、高校、大学とサッカーに明け暮れる毎日を送りながらも安定した生活の道を選んで一旦は銀行へ就職、しかしサッカーへの夢が捨てきれず4ヶ月で



退社し、5年間フランスのクラブチームで活躍されました。南高の後輩達へのメッセージは「是非若いうちに海外で生活してみてください。言葉の壁やお金がない苦しい生活の中でも、日本にいたら絶対関わりをもたなかったであろう人たちとも交わりがもて、自分の限界や日本人としてのアイデンティティを痛感できることは何ものにも変えがたい財産になると力説されています。

ご自身の体験を綴った『教師を目指す人へ』のレジュメをもとに、国語教師を目指すことに決めた高校時代から今日に至るまでの道のり、そこで出会った人々のこと、そして今、高校教師としてどんなふうに住事しているか、さらには高校時代の勉強方法についてもご紹介いただけるながら、今生徒たちがやらなければならないことは何かについて、誠実に心をこめて語っていただいた。むしろ、生徒の聞く態度もそれに呼応する。お話をなかで「本気で」ということばが何度か出てきたのが印象的だ。

それは志を立てて教師になり、その難しさとやりがいと同時に感じている西脇先生の現在の心境と「勉強でも部活でも何でもいいから、何か一つやり通して自信をつけて。夢をあきらめないで、失敗を恐れなくて、自分の声を聴いてあげて」の後輩たちへの応援メッセージのようにも感じられた。



桑名北高校教諭 西脇智美氏(38期生)

教育実習

今年も教育実習が行われました。第38〜43期生の方々に感想をお聞きしました。

石川大輔

38期生

二週間の教育実習を終えて、私は先生方や生徒の子達に感謝しても足りないという気持ち一杯です。南高の皆さんからすれば、ただの卒業生でしかない私に一方的に迷惑をかけるような事を受け入れる理由もないと思います。しかし、先生方も生徒達にも暖かく広い心で迎えていただいて、それだけでもう感激をしています。

水谷純也

43期生

教育実習を終えて、今までは生徒という立場で、毎日があたり前のような高校生活を送ってきましたが、教師という立場を勉強させていただきました。教師とい



う仕事のやりがい、厳しさを実感することができました。

高校生活の大切さを感じると共に、南高で過ごした日々はとても貴重な日々であることも改めて感じました。また、他の実習生の成長した姿を見て、自分自身も時間と共に成長してきたことに気がきました。この教育実習という貴重な経験を今後の人生に役立て、更なる成長に向けて頑張りたいです。

最後に、お忙しい中、ご指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。

伊勢谷和子

43期生

3年ぶりに南高に帰ってきました。でも実習生として帰ってくる学生として過ごしていた時より数段に大変でした。最初は生徒に声をかけても反応が薄く少しづつ良かったです。でも徐々に話しかけてもくれるようになって、体育祭の時はクラスの皆と応援するのがとても楽しかったです。

授業は前でも試みて先生方のすごさを改めて感じました。どう教えたら分かり易いのかも分からず大変でしたが、優しい生徒と先生に助けられ何とか乗り切ることが出来ました。また南高祭などに遊びに来たいです。

千種麻未

43期生

教育実習初日、私は期待と不安で胸がいっぱいでした。最初の数日は生徒と馴染むことに必死でしたが、幸い体育祭が近づ

いており、朝や放課後に接する機会が多く、生徒からも話しかけてくれる様になりました。

担当の先生からは、沢山の授業をさせて頂き、とても貴重な経験となりました。生徒は集団であるけれども、教師は生徒個人を見ていく、一人一人と接していくことが重要、大切であると改めて感じました。

授業を通して、生徒の頑張っている姿勢や、楽しんでる様子を見ることが出来たり、毎日見る担当クラスの生徒の元気な笑顔から、常にパワーをもらっていた3週間でした。ありがとうございました。

細川奈純

43期生

二週間、本当にあっという間でした。毎日が新たな発見の連続で本当に濃い毎日を送らせて頂きました。体育祭や授業準備では教師という立場での責任の重さ・多忙さを実感することが出来ました。

そんな中でも一番実感したのは生徒が可愛くて仕方がないということ。生徒とのコミュニケーションが教師にとって一番のやりがい・生きがいになるのだと改めて感じました。授業では、生徒に伝えようとするれば、授業内容の3倍程の知識を要することを身を持って経験しました。

この実習で学んだことを自分の糧に、挑戦し続けていきます。指導して頂いた先生方、本当に有り難うございました。

躍進する部活動

ワンダーフォーゲル部

佐賀県で8月16〜19日に開催された平成19年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の登山競技・女子団体に見事『優勝』の栄冠を手に入れました。インターハイには過去5年連続出場していましたが、入賞の壁は厳しいものでした。日々の鍛錬が実り、今年はずばらしい結果を得られました。メンバーは3年粥川瑛子・出口恵美、2年佐野真梨奈・野村亜未の4名。顧問は赤塚綾子先生です。

南高50年の歴史の中でも初の全国制覇という栄誉に預かり、学校やこままで支えてくれた多くの方々のおかげです。

今年度は県高校春季大会・女子円盤投・優勝などの成績を修めました。東海IHでは9位と全国IH出場は逃しましたが現在は1・2年生で頑張っています。

また、今年の三重県選手権大会女子10000MでOBが優勝するなど、卒業生も元気な南高陸上競技部です。

現在20人で活動しています。

今年度は県高校春季大会・女子円盤投・優勝などの成績を修めました。東海IHでは9位と全国IH出場は逃しましたが現在は1・2年生で頑張っています。

また、今年の三重県選手権大会女子10000MでOBが優勝するなど、卒業生も元気な南高陸上競技部です。

現在20人で活動しています。

今年度は県高校春季大会・女子円盤投・優勝などの成績を修めました。東海IHでは9位と全国IH出場は逃しましたが現在は1・2年生で頑張っています。

また、今年の三重県選手権大会女子10000MでOBが優勝するなど、卒業生も元気な南高陸上競技部です。

現在20人で活動しています。

今年度は県高校春季大会・女子円盤投・優勝などの成績を修めました。東海IHでは9位と全国IH出場は逃しましたが現在は1・2年生で頑張っています。

また、今年の三重県選手権大会女子10000MでOBが優勝するなど、卒業生も元気な南高陸上競技部です。

現在20人で活動しています。

今年度は県高校春季大会・女子円盤投・優勝などの成績を修めました。東海IHでは9位と全国IH出場は逃しましたが現在は1・2年生で頑張っています。



インターハイで優勝したワンダーフォーゲル部

これから教育実習を希望される予定の皆さんへ

教育実習の申し込み期間は、実習年度の前年の4月10日から5月15日です。その間の平日に、事前に総務部と連絡を取り、本人が直接来校して手続きをしてください。

サッカー部

県総体BEST4。これが男子サッカー部の目標だ。今年の三年生は強豪校相手に一歩も引かず、延長1点で惜敗した。悔しくて泣いた。でも少し一人前のプレイヤーになった気がする。どんなチームと対戦しようともこの目標に向けて努力する。

女子サッカー部も東海大会出

バスケットボール部

3年生は男女とも県総体で引退しました。男子部員は2年生が14名、1年生が10名。女子部員は2年生が5名、1年生が9名。マネージャーは2年生1名、1年生7名で活動しています。体育館での練習時間は限られています。県大会出場を目標に、そしてさらに上の成績を目指して日々努力をしています。

バレーボール部

男子は3回戦で、女子は2回戦で其々惜敗した県総体をもって3年生は引退しました。男子は2年9名、1年4名、女子マネージャー1名、2年各1名の計15名が活動しています。女子は2年5名、1年10名、マネージャー1名の計16名が、専門コーチの適切な指導を受けながら元氣よく練習に励んでいます。

演劇部

昨年度の夏のコンクールでは主力の2年生が3人という苦しい中、1年生がキャストの中心になり『バヴァアヌ』（曾我部マコト・作）を上演し北勢地区優良賞を受賞しました。また、北勢春季大会では、創作劇に挑戦し、『レギュラーヒーロー』を上演して、見事金賞に輝きました。

軽音楽同好会

本年度は1年生26名が新たに

加わり、2年生26名・3年生6名と合わせて58名となりました。バンド単位で練習し、上級生が下級生へ楽器の指導をしながら技術の向上を目指しています。自主的に校外でのイベントへ参加するバンドもあり、できることをこつこつと行っています。

柔道部

毎年OBの方々からの温かいお言葉や、ご支援を励みに活動させていただいています。昨年は全国高校総体女子63kg級で小林未来が5位入賞を果たしました。部員一丸となり常に高い意識を持ち、追い込んだ生活を共にしてきたチームの成果でした。今年の3年生も最後の県総体では負けた瞬間に、悔しさと満足感で涙していました。「やりきる」そんな生徒に頭が下がります。全ては支えてくださった方々のおかげと感謝いたします。

卓球部

3年生は、男女とも県総体をもって引退しました。男子部員は2年生が7名、1年生が8名。女子部員は、2年生が2名、1年生が2名です。練習は基本的に日曜日を除く毎日、体育館1Fで練習をしています。男女ともに、県ベスト8を目標に、日々努力をしています。

天文部

本年度は総勢16名。文化祭でもっと見応えのあるものを作りたいと、部員達からの要望もあ

り、夏休み中は展示用作品の制作に追われそうです。その作品の目玉には、天体写真を予定しています。太陽系惑星や皆既月蝕を狙えるよう、只今撮影技術とパソコンでの加工技術を習得中です。

電算無線部

電算無線部の主な活動内容に、四日市南高校公式ホームページの更新作業があります。学校行事など各種情報をリアルタイムで発信しておりますので、<http://www.4nan.jp/>に是非アクセスしてみてください。現在は資格取得に向けて準備しています。電算無線部の活動にご期待下さい。

インターアクト部

私たちインターアクト部は1年生部員2名で活動しています。先日は三重大学の方と交流会をもって他校の仲間とともに街頭募金活動に参加しました。これからも奉仕と国際理解をテーマに、さまざまな体験と英語研修を通して周囲を明るくしていけるような自分作りに取り組んでいきたいと思っています。

イラスト部

2年前には10人いた部員も、昨年は、2人までに減少してしまいました。当然、昨年は年2回の部誌の発行もままならず、文化祭の時の1回だけでした。そんな中、今年は何とか部員の勧誘も頑張ってもらい、部員

も6名までに復活しました。部員一同、今年は年2回の部誌発行を目指し、頑張っています。宜しく応援のほどお願いします。

音楽部

音楽部は今年16人で活動しています。テニスコートの横のプレハブが練習場所です。校内では、入学式、文化祭、中学生見学会、離任式等で演奏させていただいています。校外では合唱祭、合唱コンクール、三重音楽祭、アンサンブルコンテストなどに参加しています。OBさんたちが練習を支えてくれています。

茶道部

羽木千鶴子先生のご指導のもと、表千家のお点前を稽古しています。部員数は30人になりました。3年生は引退して現在17人の1・2年生が週に一度活動をしています。南高祭第一日目にはお茶会を催します。それに向けて全員で励んでいます。

バドミントン部

6月末現在一、二年生の部員数、男子27名、女子32名。部員数は過去最多です。体育館4面を男女で使うのでは、あまりも手狭ですが色々工夫をこらしながら日々練習に励んでいます。土曜日を中心に学校外の方にもボランティアで、練習を見ていただいています。初心者がほとんどの部ですが、一歩

ずつ歩を進めたいと考えています。今後とも、ご指導ご鞭撻をよろしく願います。

美術部

1年生が5名入部し、2年7名、3年4名で活動しています。例年通り大王崎への制作合宿をはじめ、7月末には全国高文祭島根大会に2年生が出品します。昨年から企画でもある、四日市アピタ前の公園での電飾パネル展示(アートイルミネーション)も予定しています。十一月末から一ヶ月程展示(点灯)しますので通るかかった時は是非ご覧下さい。

放送映画部

放送映画部は現在2年生が男子1名、女子3名、1年生が男子3名で活動をしています。昨年はFM四日市さんの協力を得て、文化祭の様子を電波に乗せて生放送しました。また、ドラマの製作や環境のビデオ、学校紹介のビデオなども製作しています。

剣道部

顧問は、従来の浦田・松井に有段者の杉本吾郎(英語)が加わりました。部員は、1年生女子が2名入り、高校総体には3年生2名を含めて久しぶりに女子5名(全員有段者)で団体戦に出場しました。OB会も例年通り八月に開催し、先輩諸氏から現役生にご教示を頂く機会になっております。

50周年記念事業 実行委員会より

寄付について

目標額二千万円
一口三千円
(二口以上は記念DVDを贈呈)

記念テーマ

『誇りを胸に』

式典

場所 四日市市文化会館第一ホール
実施日 10月下旬の会場が確保できる日(平成19年10月に決定)

記念式典(午前)

挨拶、DVD上映
記念行事(午後)
音楽部OB、吹奏楽部、
谷川俊太郎氏講演(予定)

記念誌

実費販売を行います。
一冊三千円(二七〇ページ程度)
発行予定時期二〇〇九年初め

DVD

一枚五百円
ワイドビジョン・ハイビジョンで制作

モニュメント

長谷川克義氏(二十七期生)による制作(1.2m×1.2mの輪)

2006年度 進路状況

本年度の卒業生数は、8クラス(内、数理コース2クラス)の合計319名でした。進学者数は304名(内男子132名)で、全体の95.2%が進学しました。ただし、残り4.8%の内4.4%は浪人生です。

数理コースは卒業生の52.6%が国立大学に、37.5%が私立大学に進学しました。学年全体の32.3%が国立大学の進学者で占められています。

国立大学の延べ受験者数は248名、合格者数は111名、入学者数は103名です。合格率は44%(入学率は92%)でした。国立4年制大学の現役生と過年度生合計の合格者数は120名です。

学部別の特徴では工学部系統の合格者比率が34%(昨年50.5%)を占めており、例年のことながら本校の大きな特徴となっています。今年は文学(20%)が昨年全国的人気であった教育(12%)を抜いて、志望が多くなりました。昨年は教育学部に人気が集まりましたが、今年は全国的にも志望が集まらず、本校でも同様な傾向を見ることがあります。文学系統の多さは今年度の一つの特徴です。本校では、国立大学では工学部が多く開講されていること、同系統はもちろん文系系統においても国立大が私立大よりも教育、就

職環境に優れるため、多くの生徒が全国的な視野を持って国立大の受験校選択をおこなっています。

愛知教育大では前期・後期日程共に大きく志願者を減らしましたが、三重大では医学部を除く各学部で前日程の志願者が増加しました。三重大人文学部が昨年多くの志願者を集めて厳しい入試となりましたが、今年も引き続き志願者が増えました。逆に、三重県立看護大では易化が顕著で過去最多の合格者数となりました。地域的にみると、北陸方面では富山大、金沢大、福井大も高い合格率の年となりました。しかし、島根大、徳島大では従来からの印象より厳しい合格状況でした。県立広島大、大分県立看護大なども多くの志願者を集め、追跡動向をみると予想を超える動きとなっています。

私立4年制大学の延べ受験者数は1335名、重複を除く受験者数は265名です。平均併願数は5.04(昨年5.03)になっています。受験者動向における第一の特徴は、一般人試前日程の受験者数(延べ636人)が昨年(延べ831人)より減少しましたが、合格率は51.4%(昨年43.2%)とアップしている点にあります。次にセンター利用前期では受験

者数(延べ539人)と昨年(延べ398人)より大きく増加し、合格率も55.3%と昨年並み(55.5%)になりました。

学部別の合格状況は、工学系が33%と群を抜いて多く国立大と同じ傾向です。ついで、文学系(20.5%)、政治・法律系(13.2%)となっています。

工学系が多いのは理系選択生徒が多いことによるものを中心です。今年の工学部系の受験者動向の特徴は、名城大、中部大、愛知工業大、近畿大、大同工業大で大きく受験者を減らしているところです。この影響が各大学とも、大学全体の受験者数の減少に結びついています。

反対に文系学部の受験者の増加が見られ、文系学部を中心とする大学は全体の受験者数を増加させています。南山大、愛知大、中京大、愛知学院大、関西大などへの本校の受験者数は昨年よりも増加していますが、文系学部での増加が目立っています。具体的な学部では全国的志望動向で言われる法学、経済両系統への志望者増加の顕著な事例は認められ、合格状況も政治・法律系では昨年(5.8%)を大きく上回りました。また、教育、商学・経済系統は例年通りの安定した合格者数で推移しています。

今後とも地域の期待を担う進学校として大いに活躍したいと考えております。先輩諸氏のご指導・鞭撻をお願い致します。

(進路指導部 崎山 精二)

2006年入試 大学合格者数(浪人含む)

大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格	大学名	合格		
室蘭工業	1	愛媛	1	東北芸術工科	1	東洋	3	中京	69	京都医療科学	2	広島国際	1
茨城	1	九州	1	獨協	2	日本	3	中京女子	5	大谷	2	私立大学計	767
筑波	1	福岡教育	1	文教	1	日本女子体育	1	中部	32	京都外国語	2	三重短大	20
東京工業	1	国立大学計	90	千葉工業	1	法政	8	名古屋外国語	17	京都産業	2	大垣女子短大	1
富山	4	高崎経済	1	和洋女子	1	明治学院	1	名古屋学院	3	京都女子	1	名古屋学芸短大	1
金沢	4	埼玉県立	1	共立女子	1	早稲田	4	名古屋経済	1	京都薬科	2	一宮女子短大	1
福井	5	首都大学東京	1	慶應義塾	3	麻布	1	名古屋芸術	3	京都橘	5	名古屋経済短大	1
山梨	1	富山県立	1	駒澤	1	金沢工業	22	名古屋商科	3	同志社	9	名古屋短大	8
信州	5	福井県立	2	芝浦工業	3	岐阜聖徳学園	2	名古屋女子	15	同志社女子	1	藤田保健衛生短大	4
静岡	10	都留文科	1	昭和女子	2	岐阜医療科学	3	名古屋造形芸術	1	京都ノートル女	3	名古屋女子短大	1
愛知教育	1	山梨県立	1	成蹊	1	常葉学園	1	藤田保健衛生	5	立命館	21	名古屋文化短大	3
名古屋	5	静岡県立	2	成城	2	浜松	2	南山	38	龍谷	13	南山短大	1
名古屋工業	7	愛知県立	4	専修	2	日本赤十字豊田	1	日本福祉	9	大阪工業	4	高田短大	1
岐阜	1	名古屋市立	3	大東文化	1	星城	3	名城	101	大阪大谷	1	関西外国語短大	1
三重	28	三重県立看護	5	多摩美術	1	名古屋学芸	8	東海学園	6	関西	15	白鳳女子短大	1
滋賀	1	滋賀県立	1	中央	3	愛知	17	桜花学園	7	関西外国語	2	短期大学計	44
京都	1	神戸市外国語	1	帝京	1	愛知学院	34	愛知工科	2	近畿	19	専門学校計	31
奈良教育	2	岡山県立	3	東海	9	愛知工業	20	愛知東邦	2	摂南	4		
和歌山	3	広島市立	2	東京造形	1	愛知淑徳	24	皇学館	16	関西学院	6		
鳥根	1	下関市立	1	東京電機	3	金城学院	26	鈴鹿医療科学	45	畿央	1		
徳島	2	公立大学計	30	東京農業	4	檀山女学園	19	四日市	1	天理	1		
香川	2	仙台	2	東京理科	8	大同工業	3	四日市看護医療	5	奈良	1		

実行委員会規約

第一条(名称)

本会は、三重県立四日市南高等学校創立50周年記念事業実行委員会(以下「本会」と称する)とする。

第二条(目的)

本会は、三重県立四日市南高等学校が、平成20年度(二〇〇八年度)に迎える創立50周年記念事業を円滑に実行するため、企画・立案・調査研究並びに準備・開催・運営等を行う。

第三条(事務局)

本会は、その事務局を三重県立四日市南高等学校(四日市市大字日永字岡山四九一七番地)に置く。

第四条(組織)

本会は、学校・同窓会・PTAより組織し、次の委員で構成する。
①会長は、学校長があたり、本会の招集と会務を総理する。
②副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。

③顧問は、同窓会会長・PTA会長とする。
④必要に応じ、専門委員会を置くことができる。
⑤書記は記録その他庶務を担当し、会計監査は会計事務を掌る。また、会計監査は会計の監査を行う。

第五条(会議)
本会の目的を達成するために必要に応じ、随時開催し、企画・立案・調査研究をし、重要な事項の審議・調整・決定を行う。なお、事業内容によっては、意見聴取のため委員以外の人員に拡大して行うこともある。また、緊急時・紛糾時等の対応は、事務局の判断に委ねるものとする。

第六条(会計)
本会の会計は、平成19年4月1日から事業が完了するまでとする。
付則
本規約の施行は、平成19年4月1日から事業が完了するまでとする。

ご注意ください。

同窓会名鑑を作成するという名目で、調査ハガキが多く同窓会員に郵送されております。往復ハガキ等で高額な名簿の購入を勧める等の手口です。これらは南高校同窓会とは一切関係はありませんのでご注意ください。正規の同窓会名簿は13年度に発行済みです。

先生お元気ですか？

長年本校に勤務され、退職または転勤された先生方にアンケート形式の質問に答えていただきました。

アンケート項目

- ①南高を転退職されてから何年になりますか。
- ②現在のお勤め先(お仕事)と併せて近況をお聞かせください。
- ③趣味あるいは余暇の活用などの様子をお聞かせください。
- ④南高時代の最も印象に残っていることはどんなことですか。
- ⑤南高及び南高生、同窓生にご助言、メッセージをお願いします。

西岡良卓 先生

- ①昭和五十二年四月一日から昭和六十年三月三十一日まで八年間勤めました。転勤してから二十二年目になります。
- ②現在は、三重県立志摩高等学校(三重県志摩市磯部町恵利原一三〇八)に平成十六年四月から勤め、本年度の平成十九年度で四年目になります。志摩高校の生徒の多くは、志摩市内からの通学生ですので、高校が元気を出せば、地域もさらに活性化していくという思いで頑張っています。
- ③趣味は読書というよりも、書店めぐりです。気に入った書籍を買って集めて満足しています。読書傾向はどんどん変化しています。現在、日本の古典文学に興味があるのと、著名人の名言集などを読みふけています。
- ④生徒会顧問とクラブ顧問での思い出につきると思います。まず、生徒会顧問では、その時のテーマ「今を精一杯生きろ、すばらしさをあなたと」



を大きな看板にして、文字を豆球で飾り光を灯すという企画で最初は失敗に終わったのですが、徹夜に近い状況で生徒会執行部を中心に、多くの生徒で修理して、奇跡的にも旧の四日市市民会館の舞台上に並べた時、鮮やかに点灯したことが今でも、記憶に残っています。感動的でした。又、テーマ曲として長瀬剛さんの「乾杯」を選んだのですが、結婚式等で歌われると、胸が熱くなります。

次に、クラブ活動では軟式テニス部の顧問で、コート一面で男女の軟式テニス部が練習していました。生徒は本当に一生懸命練習をしました。試合は、はじめの頃は、負け続けていましたが、だんだん実績も残していったと思います。

⑤今、考えると、当時の生徒の皆さんは、とても輝いていました。現役の皆さんは目的を持って、一日一日、充実した高校生活を送ってください。同窓生の皆さんは、高校時代を振り返るために、一度機会があれば、南高校を訪問して若かった頃の自分に戻ってみてください。きっと何かを感じると思います。

教職員移動

平成十八年度末(敬称略)

【退職】

校長 中村秀文
国語 伊藤三男

【転出先】

数学 谷 淳司 <菟野高校>
理科 亀井博樹 <石薬師高校>
音楽 大藤貴之 <桑名北高校>
英語 竹森裕子 <桑名北高校>

【転入】

校長 中川安久 <県教育委員会>
国語 澤田朱美 <亀山高校>
国語 太田 仁 <杉の子養護学校>

【前任校】

数学 大久保八司 <いなべ総合学園>
理科 西 和典 <南伊勢高校>
音楽 穂積砂江 <桑名西高校>
英語 城野博志 <川越高校>
国語 高橋紀夫 <いなべ総合学園>

平成19年度

四日市南高校

同窓会学年幹事会

総会報告

一 開催日時

平成19年8月11日(土)
P M 2時～学年幹事会
P M 3時10分～総会
P M 4時～懇親会
P M 5時45分終了

二 場所

四日市都ホテル4F

三 参加人数

30名

四 内容

- ・【学年幹事会】出席者 11名
- ・〈50周年の記念事業について〉
- ・記念事業内容説明
- ・寄付金の中間報告
- ・今後より一層の協力依頼をすすめる必要あり。
- ・クラス幹事総会実施予定
- 11月18日(日)13時30分予定
- ・学校や同窓会と会員とのつながりを日頃から強くしておく必要があるとの意見。
- ・同窓会の体制・取組を今後新たにしていきたいとの考え。

【総会】

- ・I 会長挨拶
- 会長 粕谷邦男様
- 約一万八千人の卒業生と共に50周年記念事業を成功させてお祝いしたい。協力をお願いします。

II 学校長挨拶

学校長 中川安久様
着任の挨拶と同窓会総会への
祝福

III 会計報告

会計 石原正敬様
会計報告書の説明

IV 50周年記念事業へ向けての報告

理事 浦田 治様
テーマ『誇りを胸に』
各委員会の説明

① 式典・セレモニー委員会

② 記念誌委員会

③ DVD委員会

④ 寄付集め委員会

V 役員改選

VI 懇親会

前年度役員および理事は全員
留任
総会終了後、同会場にて
17時45分散会

平成20年度 学年幹事会・総会及び懇親会〈予告〉

開催日時：平成20年8月9日(土)
午後2時より学年幹事会
午後3時より総会

開催場所：四日市都ホテル

会計報告など総会(30分程度)、立食パーティー形式の懇親会を予定しております。

同窓会役員

会 長	粕谷邦男	(2期)	
副会長	田中正	(2期)	
	山路 熟	(14期)	
	村野玉紀	(16期)	
書 記	大日方敏之	(15期)	
	水谷正美	(23期)	
会 計	小柳秀樹	(20期)	
	石原正敬	(29期)	
【学校側】			
顧 問	中川安久	学校長	
計 画	中川栄子	事務次長	
理 事	鈴木正司	教諭	
	浦田 治	〃	
	川井田真澄	〃	
	城 利英	〃	

連絡先

〒510-8562 四日市市日永字岡山4917
三重県立四日市南高等学校同窓会事務局
TEL. 059-345-3177・3178
FAX. 059-345-9549
http://www.4nan.jp/~dousou/
E-mail do-so@4nan.jp